

H28年8月会山行

「ワイルドだぜ、2日間」

H28年8月6日(土)～8月7日(日)

H12. 8. 18～8. 20	トムラウシ川地獄谷	ワガ 沢～トムラウシ温泉	
H13. 9. 21～9. 23	トムラウシ川地獄谷	雪 雨量観測所手前	日高ルベシハ山
日付不明	トムラウシ川地獄谷	天候不安 入溪場所まで	ウペハサケ山
H27. 8. 6～8. 7	トムラウシ川地獄谷	天候不良 中止	ニセイウシユッハ山

天気予報、土、日最高の予報、今回は絶好の「チャンス！」

「トムラウシ地獄谷」私のかがかとの火傷が、いつまでも記憶に残る場所、床暖、オショロコマ焼き、露天風呂付きの快適な「夢の地」へ、皆を連れて行きたい、この一心で計画するが、天候に左右されること……数年、来年は、ここから2泊3日でトムラウシ山を狙う、気持ちも「最高潮！」予定どおり雨量観測所に到着、そこから林道歩き2時間50分……？ササが混んで藪漕ぎ状態、道迷い2箇所（計画では1時間30分の予定）



入溪地点で昼食、「水が！沢でなく大川に！流れが速く？」沢の溪相が昔と違う、歩く事30分徒渉箇所、S筋肉マン流れに入り、腰まで浸かり「ロープを張ろう！」リーダー会議で「危険」と判断、時間の問題もあり13時「撤退」この地は木曜日に豪雨があり、途中のダムも濁りがひどかった、熊の糞、熊の足跡（親子）熊の寝床、獣臭、川辺は大きな熊の足跡無数「あんな大きな熊の肉球跡始めて見た」大興奮するミセスキャバレーさん、おびえる女性陣、



戻り途中、西沢で釣り糸を垂らす魚影が無い、今晚の「おかず無し」が現実に近づく、3時間かけ駐車場に到着後40分かけキャンプ場夕食はワイルドお姉さんに頼んでいた、おかずとホイール包みの具材でなんとか間に合った。明日の山を色々検討した結果、然別湖のホテル福原裏の山「名前はわからない」「標高もわからない」「標高差もわからない」なんでこんな曖昧な事に？今回天気が良好なのでガイドブックを持って来ない、責任は私にある（反省あまり無し）どこかの野球チームの監督と同じエヘヘ……



夕食みんな満足した？・・・魚は無いけど大満足



7日4時40分起床、6時移動開始、目指すは然別湖「南ペトル山」





登山口は以前から然別湖を通過する時に見ているが、ガイドブックを見てもあまり気にした事は無い『なんかの機会に登るか』程度、登り始めてすぐに入林ポスト「入林禁止」の張り紙、
「台風23号及びその後の熱帯低気圧・・・倒木やかかり木が多数発生・・・入林を禁止いたします」
「今さらもう遅い、自己責任だ！」



倒木がすごく、下山時ルートを見失うことも

有るは有るは倒木約140本、マタゴ、くぐる、飛び越える、ワイルドお姉さんへばりつく、障害物もここまできたら競争どころか助け合い精神で難関突破！でも足にくる、途中地図を拾い、頂上が1345mであることを知る、
天気が良く、大汗をかく、長老足つりぎみになり、ミセスキャバレーさん「つるクスリあげようか？」みんな啞然とする「今日も順調にボケかましています」
登り2H20' (標準 1H50') 下り1H54' (1H10')



2日目に得た満足な顔 疲れぎみの人だ一れ？



ワイルドな2日間を楽しみ、地獄を見た皆さん、お疲れ様です、想定外の出来事が多く、私も面食らいました、女性3人もいやな顔せず一緒に歩いていただき感謝しています、今回でわかった事は、
「トムラウシ地獄谷はヒグマの領域」林道は何年かすると完全に見えなくなり、沢の状況も解からない、川の支流が多く、雪溶け水もあり、天気が良くても入溪場所まで時間をかけて行かなければ水量が解からない、
宣言「私は今後トムラウシ地獄谷は計画いたしません」

来年は新たに楽しみ沢に挑戦します、現在検討しています、沢好きな会員「アドバイスよろしくお願いします」

記録 1730です